

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。円山の名物「フライト訓練」、主役のトビ「ビリー」君ほか、メンバーの全員が換羽のため、お休みしています。そこで今、新しいメンバーの馴致中です。馴致とは、お客様や報道関係者の前で実力が発揮できるように練習させることをいいます。動物も練習が大切なんですね。さて、今日は、「猛きん舎やフク・タカの森でみる肉食動物」です。



まもなく、デビューのアメワシ(=アメリカワシミズク)「バンジョウ」君、まずは、その驚異の成長から、一番左の写真は5月31日、その隣は6月15日、ンギン目ペンギン科)そして、左下の写真は7月7日です。すごい成長です。それもそのはず、毎日、竹のピンセットで冷凍マウスを大量にももらいました。そして、最近では動物園センター前でお客様にデビュー前のごあいさつです。



さて、写真からもわかるように彼の目がとても大きいことに気づきましたか。となりの「幅崎」と比べてみると、ほとんど変わらない、むしろ大きいくらいです。この大きな目で遠くのものをはっきり見るだけでなく、近くのものもくっきりみ

て、地上のネズミなどエサとなる小動物を発見、一気に舞い降りて捕まえるのです。また、片目で遠く、もう一方で近くを見るといった使い方もできます。タカの目は人の8倍の視力があるといわれていますし、フクロウは首の動きがしなやかで、左右どちらの方向にも真後ろより向こうまで頭を回すことができます。さて、左下はバンジョー君の足を前から撮影、その隣は後ろから撮影したものです。右は「オオワシ」



です。とまり方が違うのがわかりますか。フクタカの森でも自由研究ができますよ。(フクロウ目フクロウ科、タカ目タカ科)



キーパーに質問!



「フク・タカの森」前で小学生から質問を受けているのは、獣医の「近江谷」さんです。猛禽類の給餌作業へ向かうときでしたのでバケツには餌(=ニワトリのヒナの冷凍)が入っています。餌の説明だけではなく、ヒナに生えていた羽毛を猛禽類がどのように処理するのかなど、丁寧に説明してくれました。引率の(校長)先生も「動物園で説明を受けたのは初めてだ!」と感動していました。意外なことを発見するためには、勇気を出して質問することが大切ですね。



夏休みの宿題や自由研究で活用するためには、事前学習をしっかりとすることが大切です。動物園で自由研究をしてみたいという人は、ターゲットの動物を一度見て、次に図鑑や資料で調べて、ポイントを絞っていくと良いと思います。このシリーズ資料には自由研究のネタになりそうな情報もたくさん載せてきました。そして、調べたいことを「学校を通して連絡してもらおう」ことです。積極的に理科の先生に相談しましょう。アドバイスが受けられるだけではなく、必要に応じて連絡もしてくれますよ。では、また。